

敏感肌を自覚する男性のために.....

やさしさと機能性を追求した新シリーズ

『ミノン[®]メン』

2018年9月5日発売。

『ミノン』といえば不治の病と言われた難病「リール黒皮症」を治癒させた「山之内製薬」の石鹸です。

◆大阪地裁の大法廷の大陪審で被害者が冒頭陳述をしています。

シーンと静まり返った法廷には女性たちのすすり泣く声が「物の怪」のように渦巻き「怨嗟とはこういうことなのか」と実体験させていただきました。

日本の名だたる化粧品各社が被告席に座り「日本化粧品被害者の会」が原告の裁判です。

大阪の福島という駅近くの「日本化粧品被害者の会」を取材すると、「きれいになろう」と化粧品を購入し、化粧品会社を信じて使い続けたら顔の皮膚が異常に黒くなり、元に戻らなくなった。病院では診断がつかず治療法もない。化粧品会社に「被害を受けた」と相談すれば「体調のせいじゃないか」と言われ、さらに「あまりしつこいと法的処置をとる」と言われる。

「泣き寝入り」する矢先、自分と同じ境遇にある人達が多いことを知る。化粧品会社もほとんどが大手化粧品会社、K社、

P社、KS社、C社、M社、S社とだれもがTVコマーシャルで知っている優良企業ばかり。

この被告席からいち早く抜け出すために高額を示談金を払った化粧品会社もあった。

「被害者の会」のメンバーは「高額示談金」を受け取ると「日本化粧品被害者の会」原告を抜け出す（辞退）ことから、取材中にも事務局の幹部は「被害者の会潰し」だ、という。

東京に戻ると、「済生会中央病院」の中山秀夫という医師が「被害者の会潰し」をやっているという情報が飛び込んでくる。

「済生会中央病院」は芝増上寺近く。当時のワイズ事務所（芝公園2丁目）から歩いて20分程度なので取材申し込みをして話を訊きに行く。

中山秀夫先生は済生会中央病院の皮膚科の医長でアレルギー研究の大家でした。

ワイズさん「化粧品被害者の会」の方たちは不治の病ではなく治る病気です。

病名は「リール黒皮症」。アフリカの砂漠で故障した戦車の下にもぐって故障の

修理をしていた兵士が顔中に入れ墨をしたように真っ黒になった。実はこれ機械油によるアレルギーだったのです。

そういえば大阪でお会いした「日本化粧品被害者の会」の方も顔中に入れ墨をしたように真っ黒だった。

機械油は鉱物油。日本の化粧品は厚生労働省の世界でも厳しい規制で製造されている。機械油を使用しているわけではない。

いぶかしげな顔をしていると中山先生は「化粧品による接触型アレルギーの症状ですからまず、原因物質を調べます」と言う。

そのためには患者さんが日常使っている「石鹸」・「洗剤」・「シャンプー」「化粧品」を全部持ってきてもらう。

次にメーカーに連絡して、内容成分を細かに聞き出します。



次にパッチテストをします。

これで患者さんのアレルゲンがわかりますから、治療に入れます。

化粧品会社の中には、治療に欠かせない「内容成分」を伝えてこない会社があり、それどころか済生会中央病院の皮膚科に「出刃包丁をもって脅しにきた」例もあった、と中山先生は言います。

さらに社会福祉法人 恩賜財団 済生会支部東京都済生会中央病院の院長のところには「中山秀夫医長を『首にしろ!』との圧力がかった」そうです。

そこでワイズでは各化粧品会社宛てに『中山秀夫医師を守る会』を結成しましたと、それまでの経緯を書いた文書を送り、治療方針への協力をお願いすることにしました。

さすがに、日本の化粧品会社はすぐにお行儀がよくなりましたが、始末が悪いのはアメリカの化粧品会社です。中山先生が内容成分を問い合わせても「本国に問い合わせます」と言ってラチが明かない。1年以上たってから「社内機密」なので教えられない、と言ってくる。

これには中山先生も「悪質だ。患者さんはズーっと待っているのに・・・」。

やはり、化粧品を使うなら安心できる日本国産のもの。アメリカ製品はボイコットしたほうが無難です。(ワイズ編集部)

中山先生の治療方針は簡単といえば簡単です。

パッチテストでアレルゲンを特定出来たら身の回りに置かないこと。

ACS処方と言って（アレルゲン・コントロール・システム）のことです。

アレルギーはアレルゲンが人間の免疫システムに一度記憶されたら、どんなに微量でも一瞬にして反応が始まります。

だから、パッチテストでアレルゲンを特定したら、そのアレルゲンを含む化粧品を買わない、使わない、近づけないことです。

再発を防止しながら、目だった症状を治してゆく。

そのアレルギーに対する考え方に基づいて創られた超低刺激石鹼が山之内製薬の『ミノン®』です。

現在『ミノン®』は山之内製薬から第一三共に移っています。

女性の使用が多かった『ミノン®』に加えて今回は男性用「ミノン®メン」がデビューします。

皮膚は最大の臓器

人間の最大の臓器は皮膚です。

保護機能：身体の中の器官や臓器を外界から守ってくれる

体温調節：機能

知覚機能：熱い・冷たい、痛

いといった触覚をつかさどる

保湿機能：体内の水分を保ってくれる

どれも身体を正常な状態に保つうえで大切な働きです。

医師は顔色や肌の色、肌の乾燥度合い、皮膚のつや、などを見るとその患者の状態がわかる、と言います。

ところが、皮膚領域といえば化粧品メーカーばかりが目立ち、製薬会社が本気で取り組んでこなかったといつては、言い過ぎでしょうか。

第一三共ヘルスケア株式会社は、**敏感肌を自覚する男性のために「やさしさと機能性」を追求した新シリーズ『ミノン®メン』**を（2018年9月5日）に新発売します。

男性の敏感肌を皮膚科学に基づいて研究・開発した低刺激性処方のスキンケアシリーズ。余分な皮脂や汚れを落とした



左から「フェイスウォッシュ」「薬用フェイスマイルク」「薬用フェイスマルク」「フィニッシング セラム」

後、水分と油分をしっかり補う。

2017年の調査では男性の51%は敏感肌の自覚があり、特に20~30代の敏感肌の自覚が高い。

また、スキンケア習慣があり、敏感肌または乾燥肌を自覚している人の22%が「既に敏感肌を考えてスキンケアブランドを選択」。「今後、敏感肌を考えてスキンケアブランドを選択したい」(49%)と考えている。

増加が見込まれる男性の敏感肌ニーズに対し、敏感肌向けスキンケアのロングセラーブランドである「ミノン®」が、男性に特化した商品で新しい価値を提供します。

『ミノン® メン』は「じぶんにやさしく」というブランドメッセージを掲げ、男性のスキンケア習慣を啓発することで、デリケートな肌質に悩む男性のQOL(生活の質)向上に寄与します。

肉食の多い欧米人は東洋人より皮膚が厚く、皮脂の分泌量が多い。

男性の生理的な特徴は男性ホルモンの影響で女性と比べて皮脂分泌量が多い。分泌された皮脂は時間とともに酸化して刺激の原因になりやすい。

一方、習慣的な特徴：男性は女性のようにスキンケアが習慣化されていないので保湿不足となりやすい。また、男性ならではの髭剃りなどの物理的刺激により肌が乾燥し、必要な皮脂まで取り除いて

しまい、外部刺激を受けやすくなる。

【製品特長】

- ◎「うるおい補給型アミノ酸」と「うるおいバランス型アミノ酸」を配合。水分と油分を補い、乾燥とベタつく肌のバランスを整えます。
- ◎低刺激性、無香料・無着色、弱酸性、アルコール(エチルアルコール)無添加、パラベンフリー。
- ◎アレルギーテスト済み、パッチテスト済み、4週間の実使用テスト済み。

**男性の敏感肌(乾燥とテカリ)向け
3ステップケア。肌の状態に合わせて使用アイテムを組み合わせ。**

STEP 1 洗浄

肌を守りながら洗うことで保湿成分の流出を抑え清潔に保つ

「ミノン® メン フェイスウォッシュ」

1500円 (60日分の目安)

- ◎低刺激性、無香料、無着色。
- ◎植物性アミノ酸系洗浄成分配合。
- ◎ヌルつき感もつっぱり感もなくすっきり洗えるのに、洗いあがりの肌がしっとりします。
- ◎洗いあがりの肌を柔軟にします。
- ◎トリプトファン、トコフェロール配合(製品の抗酸化剤)。



STEP 2 水分補給

保湿成分を与え、肌（角質層）を整える
「**ミノン® メン 薬用フェイスローション**」
1800円（75日分の目安）

- ◎低刺激性、無香料、無着色。
- ◎肌にスツとなじんでベタつかないのに、うるおいで満たします。
- ◎カサつきも、ベタつきも両方気になる肌を整えます。
- ◎ヒゲ剃り後の肌の状態を整え、カミソリ負けを防ぎます。
- ◎にきび、肌あれを防ぎます。
- ◎トリプトファン、天然ビタミンE配合（製品の抗酸化剤）。



STEP 3 油分補給

皮膚を保護し、うるおいを閉じ込める仕上げのステップ

肌の状態や使用感の好みに合わせて、両方またはいずれかをご使用ください。

カサつきも、ベタつきも気になる方に
「**ミノン® メン 薬用フェイスミルク**」

1800円（50日分の目安）



- ◎低刺激性、無香料、無着色。
- ◎ベタつかずサラッとした使い心地の乳液。
- ◎エモリエント効果を発揮し、ごわつく肌をやわらげます。
- ◎皮脂吸着パウダー（ポリアクリル酸アルキル）配合。
- ◎ヒゲ剃り後の肌の状態を整え、カミソリ負け、肌あれ、にきびを防ぎます。
- ◎トリプトファン、天然ビタミンE配合（製品の抗酸化剤）。

乾燥ダメージが気になる方に
「**ミノン® メン フィニッシング セラム**」
1800円（60日分の目安）

- ◎低刺激性、無香料、無着色。
- ◎のびがよく、サツと肌になじむジェル状美容液。
- ◎ベタつかないのに、粉ふきが気になるほどの乾燥肌にも適度なうるおいを与えます。
- ◎角質層の隙間を擬似的に埋める構造を持つ「浸透型アミノ酸系オイル」の一部を微粒子化し、高濃度配合。うるおいを閉じ込めます。
- ◎乾燥が気になる場合、うるおいが物足りない場合、乳液の後にご使用になれます。
- ◎トリプトファン、トコフェロール配合（製品の抗酸化剤）。

